

令和8年度 授業改善推進プラン（1年生）

1 国語科

目指す児童像を基にした国語科での育成したい資質・能力		
・日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができる力 ・人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考したり、想像したりする力 ・言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚する力		
学年	現在の状況	改善のための取組
スタート カリキュラム	・語彙力が低いため、文節を意識できず、読む力が定着していない。	・拗音、促音、長音の言葉や濁音、半濁音の言葉を意識させ、語彙力を高める。

2 算数科

目指す児童像を基にした育成したい算数科での資質・能力		
・自らの考えを数学的な表現で簡潔・明瞭・明確にまとめる力 ・互いに説明し合い、話し合いの視点を明確にして議論する力 ・自らの思考過程を振り返って新たな疑問を見つける力		
学年	現在の状況	改善のための取組
スタート カリキュラム	・10までの数の構成や加法・減法の意味を理解していない児童が多い。	・文章に印をつけて視覚的に理解できるようにする。また、学び合う場面を増やし、立式の意味を伝え合うことで、理解が深まるようにする。

3 生活科

目指す児童像を基にした生活科での育成したい資質・能力		
・具体的な活動や体験を通して、自分自身や自分の生活について考え、表現する力 ・思いや願いをもち、自ら働きかけ、自分自身の生活を楽しく豊かにしようとする力		
学年	現在の状況	改善のための取組
スタート カリキュラ	・幼児期の育ちや学びを小学校教育へとつなぎ、安心して生活したり意欲的に学んだりできるように、3つの時間帯（なかよしタイム・わくわくタイム・ぐんぐんタイム）を設定し固定時間割に基づく生活への移行を行っている。 ・具体的な体験を行う中で、自分の生活について自分事と捉えられていない児童が多い。	・3つの時間帯（なかよしタイム・わくわくタイム・ぐんぐんタイム）で学んだ基礎を、各教科に生かしていく。 ・友達と交流する場面や、具体的な活動・体験等を増やすことを通して、自分の生活について深く考えられるようにしていく。

4 音楽科

目指す児童像を基にした音楽科での育成したい資質・能力		
・知識、技能を生かして自分の思いを持って表現する力 ・感じたことや気付いたことを自分の言葉で相手に伝える力		
学年	現在の状況	改善のための取組
1	・意欲・関心が高く、楽しみながら活動に取り組んでいる。一方で、拍ののってリズム打ちをすること等、一人一人に個人差が見られる。	・スモールステップで一つずつ丁寧に確認していく。歌や楽器の演奏に合わせて、手や打楽器でリズムを打ったり、音楽に合わせて歩いたりする活動を取り入れる。

5 図画工作科

目指す児童像を基にした図画工作科での育成したい資質・能力		
・感じたことや思ったこと、考えたことを話したり聞いたり話し合ったりすることができる力 ・「やってみたい」と興味や関心をもって、友達と協力して、授業に意欲的に向かう力		
学年	現在の状況	改善のための取組
1	・制作に集中し、友達の作品のよさを感じたり、伝え合ったりする児童が少ない。	・鑑賞する時間を多くとり、他の児童の作品のよさに気付けるようにする。

6 体育科

目指す児童像を基にした体育科での育成したい資質・能力		
・運動や健康について自己の課題を見付ける力 ・自分が見付けた課題解決の方法を、他者に伝える力		
学年	現在の状況	改善のための取組
1	・体を動かすことを楽しむことができています。 ・入学前の時点での運動経験や遊び経験に個人差がある。	・1年生は、運動遊びの中で、多様な動きに触れる機会を増やしていく。【楽しむ+触れる】

7 英語活動・外国語活動・外国語科

目指す児童像を基にした外国語科等での育成したい資質・能力		
・外国語や外国の文化にふれる活動を通して、自分の考えや気持ちを伝えたり、相手の考えや気持ちを受け止めたりする力 ・コミュニケーションを行う目的や場面に応じて、相手の話を聞き、必要な言語材料を選び、相手に伝わるよう思考・判断しながら表現する力		
学年	現在の状況	改善のための取組
1	・ALTと楽しみながら歌を歌ったり、ゲームをしたりして、外国語の発音に親しんでいる。	・歌、ゲーム、会話のやり取りの実体験を通して、コミュニケーションではリアクションが有効であることに気付けるように、リアクションポスターの活用をしていく。

8 特別の教科 道徳

目指す児童像を基にした道徳科での育成したい資質・能力		
・人間としてよりよく生きる上で、道徳的価値の大切さを理解する力 ・人間としてよりよく生きる上で、大切な道徳的価値を自分のこととして考えたり感じたりする力		
学年	現在の状況	改善のための取組
1	・登場人物になりきって気持ちを考えられるようになってきている。	・場面絵、写真を使うことにより、教材文を理解しやすくしていく。 ・役割演技やペアでの話し合い活動等、考えを深めさせる手立ての工夫をする。

9 特別活動

目指す児童像を基にした特別活動での育成したい資質・能力		
・話し合いの進め方に沿って、自分の考えを表現し、合意形成を図る力 ・学級生活を楽しくするために、仲良く助け合い実践する力		
学年	現在の状況	改善のための取組
1	・当番活動や係活動に慣れてきた児童が多いが、創意工夫をする児童がまだまだ少ない。 ・話し合い活動の基本的なやり方がまだ定着していない。	・係活動の時間を確保し、活動内容を考えたり、振り返りをしたりして、活動が充実するようにしていく。 ・係の発表ができるように、朝の会で発表の場を設ける。 ・話し合い活動を多く取り入れ、基本的なやり方を定着させるようにする。また、自分の考えを自信をもって表現できるようにしていく。

10 交流及び共同学習の進捗状況

学年	現在の状況	改善のための取組
1	・1年生は入学時に6年生にお世話をしてもらったり、休み時間に遊んでもらったりするなど、日常的に交流を続けている。 ・月1度のなかよし班活動(異学年交流)では、他学年と遊ぶことができています。しかし、全体的にみると、他学年との交流の機会は少ない。 ・2月には就学前の保育園児と交流をする予定である。	・11月に1・2年生合同遠足を予定している。異学年で協力して話し合いながら、遊びの内容等、自分たちで計画を立てて活動ができるようにする。 ・幼稚園・保育園との交流の機会を秋以降に設け、学習の成果を発表したり、小学校生活の楽しみを児童の言葉で伝えられるようにする。

1 国語科

目指す児童像を基にした国語科での育成したい資質・能力		
・日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができる力 ・人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考したり、想像したりする力 ・言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚する力		
学年	現在の状況	改善のための取組
2	・語彙力が乏しく、漢字やカタカナの定着に課題がある。 ・組み立てを意識し、自分の思いを文章で表現することに課題がある。	・物語文や説明文で分からない語彙を取り上げ、定着につなげる。 ・文型を示して書く機会を設定し、文章を書くことへの抵抗感を減らす。

2 算数科

目指す児童像を基にした育成したい算数科での資質・能力		
・自らの考えを数学的な表現で簡潔・明瞭・明確にまとめる力 ・互いに説明し合い、話し合いの視点を明確にして議論する力 ・自らの思考過程を振り返って新たな疑問を見つける力		
学年	現在の状況	改善のための取組
2	・基礎的・基本的な学力に差が見られる。 ・くり上がり、くり下がり正しく計算することに課題がある。 ・時刻と時間の意味や読み取りに課題のある児童が多い。	・単元ごとに学習内容を定着できるよう、復習に時間をかけ習熟を図る。 ・計算については、ドリルを活用して反復学習を行い、理解の定着を図る。 ・生活の中で文字盤の時計を読み取る経験を多く取り入れる。

3 生活科

目指す児童像を基にした生活科での育成したい資質・能力		
・具体的な活動や体験を通して、自分自身や自分の生活について考え、表現する力 ・思いや願いをもち、自ら働きかけ、自分自身の生活を楽しく豊かにしようとする力		
学年	現在の状況	改善のための取組
2	・興味・関心が高く、探検したい場所や作りたいものを自分たちで選んだり、やり方を考えたりして学習に取り組んでいる。	・体験や活動を通して考えたことや気付いたことをグループや全体で伝え合い、共有することで、自分の考えを広げたり深めたりできるようにしていく。さらに、自分自身の成長や学びについて自覚できるように、意図的に対話の場面や振り返りの場面を設定していく。

4 音楽科

目指す児童像を基にした音楽科での育成したい資質・能力		
・知識、技能を生かして自分の思いを持って表現する力 ・感じたことや気付いたことを自分の言葉で相手に伝える力		
学年	現在の状況	改善のための取組
2	・意欲・関心が高く、楽しみながら活動に取り組んでいる。一方で、拍のってリズム打ちをすること等、一人一人に個人差が見られる。	・スモールステップで一つずつ丁寧に確認していく。歌や楽器の演奏に合わせて、手や打楽器でリズムを打ったり、音楽に合わせて歩いたりする活動を取り入れる。

5 図画工作科

目指す児童像を基にした図画工作科での育成したい資質・能力		
・感じたことや思ったこと、考えたことを話したり聞いたり話し合ったりすることができる力 ・「やってみたい」と興味や関心をもって、友達と協力して、授業に意欲的に向かう力		
学年	現在の状況	改善のための取組
2	・自分の作品に集中し、自分の考えで完結してしまうことがある。 ・やってみたいことをすぐに表現ようと、失敗してしまうことがある。	・図工の時間中にお互いの作品を鑑賞する時間を設定し、思ったことを伝え合う活動を行う。 ・じっくり考える時間と試して作ってみる時間を設定する。

6 体育科

目指す児童像を基にした体育科での育成したい資質・能力		
・運動や健康について自己の課題を見付ける力 ・自分が見付けた課題解決の方法を、他者に伝える力		
学年	現在の状況	改善のための取組
2	・体を動かすことを楽しむことができている。 ・運動経験や遊び経験に個人差がある。	・1年生で経験した運動遊びから、中学年の運動領域を見据えて、遊びを計画する。 【楽しむ＋生かす・工夫する】 ・教師が、基本的な動きについて理解するために校内研修等を行っていく。

7 英語活動・外国語活動・外国語科

目指す児童像を基にした外国語等での育成したい資質・能力		
・外国語や外国の文化にふれる活動を通して、自分の考えや気持ちを伝えたり、相手の考えや気持ちを受け止めたりする力 ・コミュニケーションを行う目的や場面に応じて、相手の話を聞き、必要な言語材料を選び、相手に伝わるよう思考・判断しながら表現する力		
学年	現在の状況	改善のための取組
2	・ALTと楽しみながら歌を歌ったり、ゲームをしたりして、外国語の発音に親しんでいる。	・歌、ゲーム、会話のやり取りの実体験を通して、コミュニケーションではリアクションが有効であることに気付けるように、リアクションポスターの利用などをしていく。

8 特別の教科 道徳

目指す児童像を基にした道徳科での育成したい資質・能力		
・道徳的な問題を自分事として捉え、そこにある事象を多面的・多角的に考える力 ・自分の考えを表現し伝え合う力 ・自分はどうすべきか、何ができるか判断し、主体的に実践しようとする力		
学年	現在の状況	改善のための取組
2	・相手の心情を思いやることができず、自分中心的に考えてしまう傾向がある。 ・語彙が少ないので、考えを文章に書いて表現することが難しい。	・場面絵、写真、ワークシート、分かりやすい発問、簡単な役割演技、ペアでの話し合い、など考えを深めさせる手立ての工夫をする。

9 特別活動

目指す児童像を基にした特別活動での育成したい資質・能力		
・人間としてよりよく生きる上で道徳的価値の大切さを理解する力 ・人間としてよりよく生きる上で大切な道徳的価値を自分のこととして考えたり感じたりする力		
学年	現在の状況	改善のための取組
2	・学級の係を決めているが、役割に自覚を持って取り組める児童と、取り組めない児童がいる。創意工夫が足りず、自分たちだけが楽しんでいるだけの係もある。	・係の種類や活動内容については、係ごとに考えたり、学級会等で話し合ったりする時間を確保し、創意工夫して取り組めるようにする。 ・学級の係全体が盛り上がるように、係活動コーナーやアイデアを出し合える係ポストを設置したり、朝の会や帰りの会で取組を報告しあったりする。 ・定期的に、係活動発表会を行い、互いの係のよさを認め合ったり、活動内容の工夫改善に生かしたりできるように指導を工夫する。

10 交流及び共同学習の進捗状況

学年	現在の状況	改善のための取組
2	・月1度のなかよし班活動(異学年交流)では、他学年と遊ぶことができている。しかし、全体的にみると、他学年との交流の機会は少ない。 ・近隣の公共施設などを訪問するまち探検を行い、様々な人と交流する機会をもった。	・11月に1・2年生合同遠足を予定している。交流のよい機会と捉え、自分たちで話し合い、遊びの内容を決めて活動できるよう、事前指導に力を入れて指導する。 ・まち探検などで地域の施設などを訪問する際には挨拶の仕方や話し方の事前指導をし、交流活動を行う。

令和8年度 授業改善推進プラン（3年生）

1 国語科

目指す児童像を基にした国語科での育成したい資質・能力		
・日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができる力 ・人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考したり、想像したりする力 ・言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚する力		
学年	現在の状況	改善のための取組
3	・語彙力が乏しく、文章を正しく読み取る力に課題がある。 ・自分の思いを、文章表現することに苦手意識がある。	・言葉を獲得するために、試写に取り組む。 ・話す活動と組み合わせ、自分の思いを文章で表現しやすい学習環境づくりをする。

2 社会科

目指す児童像を基にした社会科での育成したい資質・能力		
・資料を正確に読み取る力 ・調べ学習や仲間との意見交流を通して、自分の考えをもち、伝える力 ・学習内容に興味をもち、学習の見通しをもち探究する力		
学年	現在の状況	改善のための取組
3	・調べたことを自らまとめていく経験が少ない。また、社会科の基礎基本の定着を図る必要がある。	・どんなことが学べたのかノートや新聞形式にまとめたり、タブレットを活用して調べたことを整理したりする時間を多く設定する。 ・授業で教科書資料や地図帳などを扱う場面を増やし、データの読み取り方やそこから何が見えてくるのかを丁寧に指導していく。

3 算数科

目指す児童像を基にした育成したい算数科での資質・能力		
・自らの考えを数学的な表現で簡潔・明瞭・明確にまとめる力 ・互いに説明し合い、話し合いの視点を明確にして議論する力 ・自らの思考過程を振り返って新たな疑問を見つける力		
学年	現在の状況	改善のための取組
3	・話し合いに自分事として参加する意識が薄い児童がいる。 ・課題から問題を見出すことが難しい児童がいる。 ・問題解決に向けて、自分なりの根拠をもって記述することがに難しい児童が多い。	・話し合いへの参加度を上げるために、児童に自己決定させる場を多くし、自己決定したことがどうであったか、振り返る機会を設ける。 ・例えば、条件不足・条件過多などの課題を提示して、どうすれば解決できるのか児童一人ひとりに考えさせる場を設定していく。 ・書き方の事例を出したり、言葉だけを記入するだけにしたりすることで、書くことへの抵抗感をなくすようにする。また、どこまで考えているかを

		問うことで、考えているところまでも記述するように伝える。
--	--	------------------------------

4 理科

目指す児童像を基にした理科での育成したい資質・能力		
・自然事象の差異点や共通点に気づき問題を見いだす力 ・見いだした問題について既習事項や生活経験をもとに根拠のある予想や仮説を発想する力		
学年	現在の状況	改善のための取組
3	・問題を見いだすことができない児童がいる。 ・意欲的に観察・実験に取り組んでいるが、予想や考察の場面において自分の考えを記述することが難しい児童が多い。	・導入を工夫し、児童の問題意識が拡散しないようにする。また、話型を示し、問題作りの経験を積ませていく。 ・各場面において、考えを焦点化するような問い直しや声掛けをし、自分の考えを記述できるようにする。 ・単元を通して学習したことと生活とのつながりを見付ける時間を設け、理科を学ぶ有用性を感じられるようにする。

5 音楽科

目指す児童像を基にした音楽科での育成したい資質・能力		
・知識、技能を生かして自分の思いを持って表現する力 ・感じたことや気付いたことを自分の言葉で相手に伝える力		
学年	現在の状況	改善のための取組
3	・進んで音楽活動に取り組む児童が多い。曲想に合わせた歌唱や演奏にするための工夫を取り入れる能力に差がある。	・友達と楽しくアンサンブルをしたり、グループでの創意工夫をしたりして、協力して音楽を創り上げられるようにする。

6 図画工作科

目指す児童像を基にした図画工作科での育成したい資質・能力		
・感じたことや思ったこと、考えたことを話したり聞いたり話し合ったりすることができる力 ・「やってみたい」と興味や関心をもって、友達と協力して、授業に意欲的に向かう力		
学年	現在の状況	改善のための取組
3	・表す活動に意欲的に取り組む様子が見られる。表す活動では、材料の特性を生かしていない様子がみられる。	・様々な素材を「ふわふわ」「つるつる」などのイメージに合わせて分類する活動を通して、材料ごとの自分の感覚を深められるようにし、材料の性質を生かしたり、材料から発想して表すことができるようにする。

7 体育科

目指す児童像を基にした体育科での育成したい資質・能力		
・運動や健康について自己の課題を見付ける力 ・自分が見付けた課題解決の方法を、他者に伝える力		
学年	現在の状況	改善のための取組
3	・自分の運動技能を高めたり、健康的な生活のための工夫を見出す力が弱い児童がいる。	・児童自身が技能を高めたり、生活を振り返られるように、教師がそれぞれの視点をはっきりさせて提示する。

8 英語活動・外国語活動・外国語科

目指す児童像を基にした外国語等での育成したい資質・能力		
・外国語や外国の文化にふれる活動を通して、自分の考えや気持ちを伝えたり、相手の考えや気持ちを受け止めたりする力 ・コミュニケーションを行う目的や場面に応じて、相手の話を聞き、必要な言語材料を選び、相手に伝わるよう思考・判断しながら表現する力		
学年	現在の状況	改善のための取組
3	・A L Tと英語専科が協力して授業を行うことにより、児童が楽しみながら活動することができている。 ・英語を用いて自分の考えや気持ちを伝えることに消極的になったり日本語で答えたりする等、課題が残る児童がいる。	・A L Tに合わせて反復して発音させる。ただ楽しむだけでなく、正しい発音を身に付けることができるよう指導する。 ・活動で用いる会話などについては、チャンツなどで反復して発音させる。また、活動の前には実際にA L Tと担任が必ずデモンストレーションを行い、児童の不安感を取り除いていく。

9 特別の教科 道徳

目指す児童像を基にした道徳科での育成したい資質・能力		
・道徳的な問題を自分事として捉え、そこにある事象を多面的・多角的に考える力 ・自分の考えを表現し伝え合う力 ・自分はどうすべきか、何ができるか判断し、主体的に実践しようとする力		
学年	現在の状況	改善のための取組
3	・自分のことを見つめ直すことに課題がある。 ・発表の場になると決まった児童が挙手する傾向にある。	・教師が発問を工夫して、児童の心に揺さぶりをかけて、「自分だったらどうするのか」という視点で児童が考えを深められる機会を設ける。 ・授業展開によっては児童自身の立場を明確にさせて、他者に自分の考えを伝える時間を設ける。

10 総合的な学習の時間

目指す児童像を基にした総合的な学習の時間での育成したい資質・能力		
・どのように社会・世界と関わり、よりよい生き方を送るかを考えられる力 ・何を理解しているのか、何ができるのかに気付く力 ・理解していることやできることをどう使うかを考え、生かす力		
学年	現在の状況	改善のための取組

3	・調べるのが目的になり、情報の整合性がとれていないことがある。 ・調べることは意欲的に行うが、相手に分かりやすく伝えるために、自分の言葉で調べた内容を整理することに課題がある。	・児童が自分が調べた内容について、正しい情報なのか確かめる時間を与える。インターネットだけでなく本も活用し、引用の仕方を指導する。 ・調べた内容を、カードやワークシートに記入し、これを用いて順序よく整理する学習を行う。
---	---	--

Ⅰ Ⅰ 特別活動

目指す児童像を基にした特別活動での育成したい資質・能力		
・集団や生活上の諸問題を他者と協働して解決して、より良い人間関係を形成する力 ・合意形成を図るための話し合いの手順や方法を理解する力		
学年	現在の状況	改善のための取組
3	・当番や係活動では、実践することができている児童とできない児童に差がある。 ・生活をよりよくするために課題を見付け、話し合いを深めることに課題がある。	・児童自身が行っていることがクラスのために出てきているか振り返りを行い、次の目標を設定する。 ・学級で課題になっていることは何か、という視点で、児童一人ひとりが自分の考えを明確にし、学級会を計画的に行うことで、話し合いの経験を増やす。

Ⅰ Ⅱ 交流及び共同学習の進捗状況

学年	現在の状況	改善のための取組
3	・月に1度のなかよし班活動では異学年で交流することができている。 ・学年同士の交流することはあっても、他学年で交流する機会は少ない。	・巣鴨小学校と小小連携の取り組みとして、国語「本で知ったことをクイズにしよう」の単元でクイズの交流をmeetで行う。 ・学年末に理科で学んだことを生かしたおもちゃ作りをし、2年生におもちゃショーを行う。

1 国語科

目指す児童像を基にした国語科での育成したい資質・能力		
・自分の考えを整理し、分かりやすく文章に表現する力 ・様々な言葉に触れ、表現の幅(語彙)を広げる力 ・友達との交流を通して、自分の考えを広げたり深めたりする力		
学年	現在の状況	改善のための取組
4	・語彙力が乏しく、叙述から創造する力に課題がある。 ・自分の思いを、文章表現することに苦手意識がある。	・箇条書きや図、メモなどで考えて整理する時間を設ける。 ・日記などの継続的な活動を通して、語彙を増やし、自分の思いや考えを文章で表現する力を育てる。

2 社会科

目指す児童像を基にした社会科での育成したい資質・能力		
・資料を正確に読み取る力 ・資料から必要な情報を読み取り、まとめる力 ・調べたことをもとに、自分の考えを持つ力		
学年	現在の状況	改善のための取組
4	・調べたことを自分の言葉でまとめる力に課題がある。 ・調べたことから自分の考えにつなげ表現する力に課題がある。	・タブレットを活用して複数の資料に触れ、必要な情報を選択する活動を取り入れる。 ・調べたことに対し、自分の考えを文章や言葉で表す活動を多く取り入れる。 ・友達との意見交換の場を多く設ける。

3 算数科

目指す児童像を基にした育成したい算数科での資質・能力		
・自らの考えを数学的な表現で簡潔・明瞭・明確にまとめる力 ・互いに説明し合い、話し合いの視点を明確にして議論する力 ・自らの思考過程を振り返って新たな疑問を見つける力		
学年	現在の状況	改善のための取組
4	・図形領域における図形の構成要素を理解し、その理解した知識を活用して、場面を捉えて技能に関する問題を解決することに課題が見られる。 ・自分の考えを書くことに苦手意識を感じている児童がいる。	・何を知りたいから道具を使うのか、作図をするとどんなことが分かるのかを明確にし、図形の構成要素とつなげて体験的な活動を設定する。 ・考え方の事例の提示や書き方の模倣をすることで書くことへの抵抗感をなくす。また、問題の解答を書くのではなく、どこまで分かっているのか、何が分からないのか、自分はどうか考えたのかなど、書けるところまで書くことを目標にする。

4 理科

目指す児童像を基にした理科での育成したい資質・能力		
・既習の内容や生活経験を基に予想することができる力 ・予想を基に結果を見通して実験を構想したり、実験結果を基により妥当な考えに改善し、その内容を記述することが出来る力		
学年	現在の状況	改善のための取組
4	・意欲的に観察・実験に取り組んでいるが、予想と結果を比較して考察することはまだ難しい児童もいる。 ・生活経験や既習事項を基にして、理由を明確にした予想を立てることを苦手だと感じている児童が多い。	・結果の整理をする際には、他のグループの実験から得た結果を共有する。自分が立てた予想と比較させたり、結果から分かることや気付いたことを発表させたり、ノートに記述させたりしていく。 ・既習事項や生活経験から理由を明確にして予想を立てることができている児童を取り上げる。既習事項の復習を行ってから、単元に入る。

5 音楽科

目指す児童像を基にした音楽科での育成したい資質・能力		
・知識、技能を生かして自分の思いを持って表現する力 ・感じたことや気付いたことを自分の言葉で相手に伝える力		
学年	現在の状況	改善のための取組
4	・進んで音楽活動に取り組む児童が多い。曲想に合わせた工夫で表現することができる。 ・聴こえた音や表現した音のよさを自分の言葉で相手に伝える能力に差がある。	・クラスの人の演奏を聴いて、特徴やよさを伝える活動を取り入れる。また、聴こえた音を自身でも表現する時間をつくり、よさを更に味わうことができるようにする。

6 図画工作科

目指す児童像を基にした図画工作科での育成したい資質・能力		
・感じたことや思ったこと、考えたことを話したり聞いたり話し合ったりすることができる力 ・「やってみたい」と興味や関心をもって、友達と協力して、授業に意欲的に向かう力		
学年	現在の状況	改善のための取組
4	・表す活動に意欲的に取り組む様子が見られる。表す活動では、材料の特性を生かしていない様子がみられる。	・様々な素材を「ふわふわ」「つるつる」などのイメージに合わせて分類する活動を通して、材料ごとの自分の感覚を深められるようにし、材料の性質を生かしたり、材料から発想して表すことができるようにする。

7 体育科

目指す児童像を基にした体育科での育成したい資質・能力		
・「いつでも・どこでも・だれとでも」学習を進めることができる力 ・自分が見付けた課題解決の方法を、他者に伝える力		
学年	現在の状況	改善のための取組
4	・生涯スポーツの概念である「いつでもどこでも・だれとでも」の中の「だれとでも」活動することに課題があり、決まった友達とは意欲的に活動する姿が見られる。	・固定チームで学習を進めるだけでなく、いろいろな友達とのペア活動、トリオ活動、チーム活動で話し合ったり、アドバイスをしたりすることで「だれとでも」学習できる環境デザインを形成していく。

8 英語活動・外国語活動・外国語科

目指す児童像を基にした外国語等での育成したい資質・能力		
・学習した言葉や表現を使って、友達と進んでコミュニケーションを取る力 ・外国語を使う楽しさを感じ、意欲的に学習に取り組む力		
学年	現在の状況	改善のための取組
4	・ALT と担任が協力して授業を行うことにより、児童が楽しみながら活動することができている。 ・英語を用いて自分の考えや気持ちを伝えたりすることに消極的になったり、日本語で答えたりするなど、課題が残る児童がいる。	・ゲームなどの簡単なやり取りを行い、外国語を使うことに慣れる機会を増やす。 ・発話の正確さだけを求めすぎず、まずは外国語を使ってみようとする姿勢を大切にする。

9 特別の教科 道徳

目指す児童像を基にした道徳科での育成したい資質・能力		
・道徳的な問題を自分事として捉え、そこにある事象を多面的・多角的に考える力 ・自分の考えを表現し伝え合う力 ・自分はどうすべきか、何ができるか判断し、主体的に実践しようとする力		
学年	現在の状況	改善のための取組
4	・自分のことを見つめ直すことに課題がある。 ・発表の場になると決まった児童が挙手する傾向にある。	・ペアやグループの活動時間を増やしていく。 ・発問を工夫し、考えを深める機会を設ける。また、グループ内発表を設定するなど、安心して発表できる場を工夫する。

10 総合的な学習の時間

目指す児童像を基にした総合的な学習の時間での育成したい資質・能力		
・どのように社会・世界と関わり、よりよい生き方を送るか考えられる力 ・何を理解しているのか、何ができるのかに気付く力 ・理解していることやできることをどう使うか考え、生かす力		
学年	現在の状況	改善のための取組
4	・調べることが目的になり、情報の整合性をとろうとしていない。 ・調べることは意欲的に行うが、相手に分かりやすく伝える方法を自分で整理することに課題がある。	・正しい情報なのか確かめる時間を確保する。インターネットだけでなく、本も活用する。 ・調べたことをタブレット端末を用いて整理した後、国語の学習と関連させながら相手に伝えるための学習も合わせて行う。

13 特別活動

目指す児童像を基にした特別活動での育成したい資質・能力		
・人間としてよりよく生きる上で道徳的価値の大切さを理解する力 ・人間としてよりよく生きる上で大切な道徳的価値を自分のこととして考えたり感じたりする力		
学年	現在の状況	改善のための取組
4	・当番・係活動について話し合い、実践することができている児童とできない児童に差がある。 ・生活をよりよくするために課題を見付け、話し合いを深めることは課題がある。	・学級会を計画的に行い、話し合いの経験を増やす。 ・活動の振り返りを行い、実践に生かす。

14 交流及び共同学習の進捗状況

学年	現在の状況	改善のための取組
4	・月に1度のなかよし班活動では異学年で交流することができている。その他では、交流の機会がない。 ・巣鴨小学校との交流会をオンラインで1度行った。	・普段の活動に加え、朋有こども祭りなどの行事に向けて協力して取り組む活動を継続していく。 ・総合的な学習の時間で学習したことの成果を他学年（主に下級生）に発表する機会を設定する。 ・巣鴨小学校とオンラインで1回、対面で1回交流する機会を設けたい。巣鴨小学校と打ち合わせが必要である。

令和8年度 授業改善推進プラン（5年生）

1 国語科

目指す児童像を基にした国語科での育成したい資質・能力		
・日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができる力 ・人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考したり、想像したりする力 ・言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚する力		
学年	現在の状況	改善のための取組
5	・基礎的な言語事項は身に付いてきているが、学習した言葉を適切に活用したり、自分の考えを根拠を明確にして伝えたりすることに課題がある。	・語句や表現を授業中の発言や作文で意識して使わせる。また、文章中の言葉を根拠として示しながら考えを伝える活動を取り入れ、友達の表現と比べながら、より適切な言葉を選ぶ力を育てていく。

2 社会科

目指す児童像を基にした社会科での育成したい資質・能力		
・資料を正確に読み取る力 ・調べ学習や仲間との意見交流を通して、自分の考えをもち、伝える力 ・学習内容に興味をもち、学習の見通しをもち探究する力		
学年	現在の状況	改善のための取組
5	・資料から情報を読み取ることはできるが、複数の資料を関連付けて考察し、調べたことをもとに自分の考えを伝えることに課題がある。	・グラフ・地図・写真・統計資料などを複数提示し「何が分かるか」「なぜそうなっているのか」を段階的に読み取らせる。 ・資料を根拠として自分の考えをノートにまとめ、資料を示しながら説明する活動を取り入れる。

3 算数科

目指す児童像を基にした育成したい算数科での資質・能力		
・自らの考えを数学的な表現で簡潔・明瞭・明確にまとめる力 ・互いに説明し合い、話し合いの視点を明確にして議論する力 ・自らの思考過程を振り返って新たな疑問を見つける力		
学年	現在の状況	改善のための取組
5	・既習の知識を活用して式の意味を記述したり、資料を見てその根拠を記述することが苦手な児童が多い。 ・自分の考えをもったり、友達の考えを解釈して、自分の考えに生かしたりすることが苦手な児童が多い。	・立式の根拠を問うたり、計算のしくみについて言語化したりすることで、理解の定着を図る。また、「教えること」はしっかり教え、教えたことを活用する場面を設定する。この時の記述は途中まで書くことも良しとして、書くことへの抵抗感をなくせるようにする。 ・自分がどのように考えているのか立場を必ず持たせる。また、友達の考えを他の人が説明をする時間や、友達の考えの続きを全員で考える時間を作り、友達の考えに触れる機会を増やす。

4 理科

目指す児童像を基にした理科での育成したい資質・能力		
・既習の内容や生活経験を基に予想することが出来る力 ・予想を基に結果を見通して実験を構想したり、実験結果を基により妥当な考えに改善し、その内容を記述することが出来る力		
学年	現在の状況	改善のための取組
5	・実験や観察の結果を基に考察し、自分の考えを自分なりの言葉で表現することに課題がある。 ・授業で学習したことだけではなく、興味をもったことについて、自ら調べようとする児童が少ない。	・結果を共有した後、必要に応じて話型などの支援をしつつ、協働的に学ぶ中で考察や結論の書き方を身に付けていく。 ・授業の中で、児童が疑問に思ったことを自由に出し合って記録に残し、探究したいと思ったことを授業内外で調べる活動を価値付けていく。

5 音楽科

目指す児童像を基にした音楽科での育成したい資質・能力		
・知識、技能を生かして自分の思いを持って表現する力 ・感じたことや気付いたことを自分の言葉で相手に伝える力		
学年	現在の状況	改善のための取組
5	・主体的に音楽活動に取り組むことができる。適切な発声で合唱をすることができる。 ・音を合わせて演奏する技能に個人差がある。	・音符や休符の音の長さについて知識として理解し、技能として表現できるようにするために、常時活動でリズムパターンに慣れる。 ・グループでの演奏活動を通して、小集団で音を聴いて合わせる技能の向上を目指す。

6 図画工作科

目指す児童像を基にした図画工作科での育成したい資質・能力		
・感じたことや思ったこと、考えたことを話したり聞いたり話し合ったりすることのできる力 ・「やってみたい」と興味や関心をもって、友達と協力して、授業に意欲的に向かう力		
学年	現在の状況	改善のための取組
5	・友達の作品や美術作品に興味をもつことができている。 ・見方や感じ方を深める能力に差がある。	・児童の発言やワークシートの振り返りなど、言語活動を見えるようにし、共有を行う。

7 家庭科

目指す児童像を基にした家庭科での育成したい資質・能力		
・日常生活の中から問題を見い出して、設定した課題を解決する力 ・家族の一員として、生活をよりよくしようと工夫する実践的な力		
学年	現在の状況	改善のための取組
5	・家庭生活に関する知識や技能は身に付いてきているが、日常生活から課題を見付け、学習したことを生かして解決することに課題がある。	・衣食住や家族の生活について、実際の家庭生活を振り返って課題を見付けさせる。実習では、「誰のために、何のために」を明確にして方法を工夫させ、実践後に「生活がどう変わったか」を振り返り、家庭での実践につなげる。

8 体育科

目指す児童像を基にした体育科での育成したい資質・能力		
・運動や健康について自己の課題を見付ける力 ・自分が見付けた課題解決の方法を、他者に伝える力		
学年	現在の状況	改善のための取組
5	・運動に意欲的に取り組む児童が多いが、自分の動きや健康について具体的な課題を見付け、解決方法を考えることに課題がある。 ・考えたことを他者に分かりやすく伝えることにも個人差がある。	・運動の様子を動画や教師・友達の観察から振り返り、「できていること・改善すること」を具体的に捉えさせる。自分の課題に合った練習方法を選択・工夫し、動きのポイントを友達に実演や言葉で伝える活動を取り入れる。

9 英語活動・外国語活動・外国語科

目指す児童像を基にした外国語等での育成したい資質・能力		
・外国語や外国の文化にふれる活動を通して、自分の考えや気持ちを伝えたり、相手の考えや気持ちを受け止めたりする力 ・コミュニケーションを行う目的や場面に応じて、相手の話を聞き、必要な言語材料を選び、相手に伝わるよう思考・判断しながら表現する力		
学年	現在の状況	改善のための取組
5	・外国語の学習に意欲的に取り組む児童が多いが、既習の表現を活用して自分の考えや気持ちを伝えたり、相手の話を聞いて応答したりすることに課題がある。	・「友達にすすめを伝える」、「自分のことを紹介する」など、実際に英語を使う目的や場面を設定する。相手の発言を聞いて質問や反応を返す活動を取り入れ、伝えたい内容に合わせて既習表現を選んで話す機会を増やす。

10 特別の教科 道徳

目指す児童像を基にした道徳科での育成したい資質・能力		
・人間としてよりよく生きる上で、道徳的価値の大切さを理解する力 ・人間としてよりよく生きる上で、大切な道徳的価値を自分のこととして考えたり感じたりする力		
学年	現在の状況	改善のための取組
5	・道徳的価値について理解することはできるが、教材の内容を自分の生活と結び付け、自分自身のこととして考えることに課題がある。	・教材の登場人物の判断や行動について、「自分ならどうするか」を考え、自分の生活経験と結び付ける発問を設定する。さらに、立場や考えの違いが生まれる問いを取り入れ、友達の考えを聞いた上で自分の考えを見直す時間を確保する。

11 総合的な学習の時間

目指す児童像を基にした総合的な学習の時間での育成したい資質・能力		
・どのように社会・世界と関わり、よりよい生き方を送るか考えられる力 ・何を理解しているのか、何ができるのかに気付く力 ・理解していることやできることをどう使うか考え、生かす力		
学年	現在の状況	改善のための取組
5	・調べたことや学んだことをまとめることはできるが、それを自分の生活や社会との関わりと結び付け、今後に生かそうとすることに課題がある。	・探究の過程で、学習の流れを明確にし、各段階で学びを記録させる。活動の終末には、「分かったこと・できるようになったこと・これから生かしたいこと」を振り返り、次の探究や実生活につなげる。

12 特別活動

目指す児童像を基にした特別活動での育成したい資質・能力		
・問題を発見し、解決方法について多様な意見のよさを生かして、合意形成を図る力 ・楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、信頼し支え合って実践する力		
学年	現在の状況	改善のための取組
5	・学級の課題について意見を出すことはできるが、多様な意見を生かして合意形成を図ることや、決めたことを友達と協力して実践することに課題がある。	・学級会で「何が問題なのか」を全員で明確にした上で、解決方法のよさや課題を比較して話し合う。決定後は役割分担を明確にして実践し、活動後にうまくいったことや改善したいことを振り返って学級活動につなげる。

Ⅰ 3 交流及び共同学習の進捗状況

学年	現在の状況	改善のための取組
5	・外国語の学習を生かして、留学生との交流会を行っている。 ・巣鴨小学校と富士五湖移動教室や実際に本校に来て一緒に遊ぶなどして交流を深めている。	・外国語担当と相談をし、学習内容に即した活動内容とする。楽しいだけでなく、学びのある時間になるようにする。 ・クラスルームを活用するなどして、巣鴨小と定期的に交流できる機会を設定する。

1 国語科

目指す児童像を基にした国語科での育成したい資質・能力		
・日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができる力 ・人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考したり、想像したりする力 ・言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚する力		
学年	現在の状況	改善のための取組
6	・漢字や言葉の学習に意欲的な反面、長い文章を書くことになると戸惑う児童が多い。 ・目的や意図に応じて、自分の考えが相手に伝わるように、構成や表現を工夫して話したり書いたりすることが課題である。	・新しい漢字や言葉が出てきたら、その都度意味を確認し、短文の中で使う活動を行う。 ・情報の収集や自分の考えをまず個人でした後、ペアやグループで情報や考えの整理を行ったりアドバイスをしたりして、構成メモ等を作成する。 ・文章を書いたり、考えを書いたりする前に内容の検討を十分に行えるよう指導する。 ・物語や説明文では、筆者の意図を捉えた後、自分の考えや意見と比較させ、根拠のある意見文を書く作業を行う。 ・学んだことと関連付けながら指導することを通して、文章構成や事例の挙げ方、図表の効果的な使い方などについて理解を図る。

2 社会科

目指す児童像を基にした社会科での育成したい資質・能力		
・資料を正確に読み取る力 ・調べ学習や仲間との意見交流を通して、自分の考えをもち、伝える力 ・学習内容に興味をもち、学習の見通しをもち探究する力		
学年	現在の状況	改善のための取組
6	・課題を把握し、資料などを活用して情報を調べまとめることはできる。 ・調べた社会的事象から考察したり、説明したりすることに課題がある。	・調べた事象から、「なぜその事象が起こったのか」、「その後どのような変化が起きたのか」を考えて話し合い、考察・説明できるようにペア学習・グループ学習を行う。

3 算数科

目指す児童像を基にした育成したい算数科での資質・能力		
・自らの考えを数学的な表現で簡潔・明瞭・明確にまとめる力 ・互いに説明し合い、話し合いの視点を明確にして議論する力 ・自らの思考過程を振り返って新たな疑問を見つける力		
学年	現在の状況	改善のための取組
6	・与えられたグラフや場面から情報を読み取り、考えを記述したり、データや式などの数値の意味を考えて状況を判断して、言語化したりすることに課題がある。 ・話し合う際に、自分の考えを言うだけで、友達と自分の考えを比較したり、友達の考えのよさを知ろうとしたりすることに課題がある。	・例えば、条件不足・条件過多などの課題を提示して、どうすれば解決できるのか児童一人ひとりに考えさせる場を設定していく。また、問題が解決出来れば良いのではなくて、その過程で自分がどのように考えたのかを言語化させる経験を積み重ねる。 ・友達が発表した内容をノートに書いたり、その内容について自分はどのように考えたかノートに書いたりする活動を設定する。また、児童が発表した内容は教師が復唱せず、どんな発表をしたか聞き取った内容を一人一人が再現する場の設定を行う。

4 理科

目指す児童像を基にした理科での育成したい資質・能力		
・既習の内容や生活経験を基に予想することが出来る力 ・予想を基に結果を見通して実験を構想したり、実験結果を基により妥当な考えに改善し、その内容を記述することが出来る力		
学年	現在の状況	改善のための取組
6	・知識が先行しており、根拠のない予想を立てる児童が多い。 ・結果を事実として捉え、その事実から考えられることを発想できる児童が少ない。	・自然の事物・現象に日頃から目を向けるよう声掛けをする。それぞれの単元の前に、意図的に教師側から空を見ることや、植物に目を向けることを伝えてから単元に入ること、興味関心をもたせている。それらを基に、予想を立てることを繰り返し行う。 ・実験を行う理由や意義を児童にもたせる。実験をして分かることは何か、実験前に確認し、実験結果が分かった後に、再度結果から分かることは何か全体で確認する。これらを繰り返し指導していき、徐々に児童一人で、事実や考察が書けるようにしていく。

5 音楽科

目指す児童像を基にした音楽科での育成したい資質・能力		
・知識、技能を生かして自分の思いをもって表現する力 ・感じたことや気付いたことを自分の言葉で相手に伝える力		
学年	現在の状況	改善のための取組
6	・曲想や歌詞から、表現したいことを話し合って、決めることができる。 ・曲の特徴から、感じたことやよさを見付ける能力に差がある。	・隣の人やグループで話し合ったり、意見を交換したりして、特徴から生まれるよさを味わえるようにする。

6 図画工作科

目指す児童像を基にした図画工作科での育成したい資質・能力		
・感じたことや思ったこと、考えたことを話したり聞いたり話し合ったりすることのできる力 ・「やってみたい」と興味や関心をもって、友達と協力して、授業に意欲的に向かう力		
学年	現在の状況	改善のための取組
6	・友達の作品や美術作品に興味をもつことができている。 ・見方や感じ方を深める能力に差がある。	・児童の発言やワークシートの振り返りなど、言語活動を見えるようにし、共有を行う。

7 家庭科

目指す児童像を基にした家庭科での育成したい資質・能力		
・日常生活の中から問題を見い出して、設定した課題を解決する力 ・家族の一員として、生活をよりよくしようと工夫する実践的な力		
学年	現在の状況	改善のための取組
6	・6年生では、調理実習や洗濯など、学習したことを日常生活に生かそうとしている児童とそうでない児童との差が見られる。	・夏休みの課題として、実際に学習したことを家庭で行うこととする。夏休み明けに発表会を行い、振り返りを行うようにする。

8 体育科

目指す児童像を基にした体育科での育成したい資質・能力		
・運動や健康について自己の課題を見付ける力 ・自分が見付けた課題解決の方法を、他者に伝える力		
学年	現在の状況	改善のための取組
6	・自分のめあてや課題を設定し、それに合う練習の場や方法を選ぶことに課題がある。 ・協働的な学習として、動きの助言等を友達に伝えることに課題がある。	・学習資料として、どの段階ではどの練習の場がよいか分かるものを用意し、自分の技能に合った場を選べるようにする。 ・グループ学習で、互いに助言をし合って高め合える授業展開にする。そのために、動きのポイントが分かる資料を用意する。

9 英語活動・外国語活動・外国語科

目指す児童像を基にした外国語科等での育成したい資質・能力		
・外国語や外国の文化にふれる活動を通して、自分の考えや気持ちを伝えたり、相手の考えや気持ちを受け止めたりする力 ・コミュニケーションを行う目的や場面に応じて、相手の話を聞き、必要な言語材料を選び、相手に伝わるよう思考・判断しながら表現する力		
学年	現在の状況	改善のための取組
6	・ALTの発音を聞き修正し、チャンツでフレーズを覚えようとしている。 ・アルファベット、文を正しく書くことに課題がある。 ・学習のフレーズは意識して使おうとしている。	・書く活動の際、間違いやすい点を共有したり、添削してフィードバックする。 ・やり取りの際、学習のフレーズだけでなくレスポンスや表現ができるよう、その都度取り入れていく。

10 特別の教科 道徳

目指す児童像を基にした道徳科での育成したい資質・能力		
・人間としてよりよく生きる上で、道徳的価値の大切さを理解する力 ・人間としてよりよく生きる上で、大切な道徳的価値を自分のこととして考えたり感じたりする力		
学年	現在の状況	改善のための取組
6	・問題に対して、自分事として捉え、多面的に考えようとしている。 ・自分の考えを表現できない児童や、自分の考えをノートには書いているがなかなか共有できない児童がいる。	・様々な考え方があからこそ、励まし合えたり喜び合えたりすること、その反面、意見がぶつかったりけんかになったりすることを前提に指導していく。その上で、友達と意見が似ていたり違ったりしていることを受け止め、自分の考えを表現するよう励ましていく。

11 総合的な学習の時間

目指す児童像を基にした総合的な学習の時間での育成したい資質・能力		
・どのように社会・世界と関わり、よりよい生き方を送るか考えられる力 ・何を理解しているのか、何ができるのかに気付く力 ・理解していることやできることをどう使うか考え、生かす力		
学年	現在の状況	改善のための取組
6	・調べ学習については、自らの課題解決に向けて意欲的に取り組んでいる。 ・学んだことを今後の生活で、どのように生かしていくか考える力、実行する力が不足している。	・探究プロセスを再確認する。(課題設定→情報収集→整理分析→表現) ・学習の導入時に、課題の設定(学習との出会い、疑問を持つ)から学習内容に関心をもたせて、学習を進めていく際には、「自分事」として捉え、今、情報収集をしている学習が何につながっているのか、どう表現するのかを明確にする。

Ⅰ 2 特別活動

目指す児童像を基にした特別活動での育成したい資質・能力		
・問題を発見し、解決方法について多様な意見のよさを生かして、合意形成を図る力 ・楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、信頼し支え合って実践する力		
学年	現在の状況	改善のための取組
6	・友達の考えをよく聞き、友達の考えのよさを生かしながら、合意形成を図ることに課題がある。 ・意欲はあるが、自分のやりたいことが中心にあり、学級や学校全体を考えて行動することに課題がある。	・友達の考えを聞く姿勢について繰り返し指導し、よく聞いている姿や友達の考えを取り入れた意見を述べた児童を、教師の助言で取り上げ、価値付けていく。 ・学級や学校全体に関わる役割（例えば、実行委員やお世話当番など）を作り、学級や学年のために役に立つという経験を増やしていく。

Ⅰ 3 交流及び共同学習の進捗状況

学年	現在の状況	改善のための取組
6	・外国語の学習を生かして、留学生との交流会を行っている。 ・総合で学習をまとめたものを、他学年に発表する活動を行っている。 ・4、5月の間は、朝の時間や休み時間には1年生と交流している。	・担任から発表を提案するのではなく、児童から発表への意欲やその対象を選択ができるようにして、主体的に学習に取り組めるようにする。